

第4回学校運営協議会

校名	大阪府立富田林中学校
(准)校長名	大門 和喜・田中 肇

開催日時	2月25日(土)14時00分～16時00分
開催場所	富田林中学校・高等学校 SSL
出席者(委員)	津田会長、大谷委員、宇田川委員 楠本委員、石松委員、その他
出席者(学校)	大門校長、田中校長、二井谷教頭、國近教頭、吉川事務長、他
傍聴者	なし
協議資料	次第
備考	

議題等(次第順)	<p>1 会長あいさつ</p> <p>2 学校長あいさつ</p> <p>3 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動について ・令和6年度の学校関係者評価および令和7年度学校経営計画について【高校・中学】(20分) <p>4 協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告に係る意見交流 ・本協議会の振り返りについて <p>5 事務連絡</p>
----------	---

協議内容・承認事項等(意見の概要)	<p>○高校の本年度総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下がった進学実績を向上させる為には、どうすればいいのか？ ・3年先の中期目標を達成するために地道な努力を続けていく。 ・学力の2分化について、どうするのか？ ・中学で、学力を落とさないように、オンラインで学習保証している。 ・探究活動の数値は、生徒は上がり、教員は下がった。 ・HARTでのアンケート結果では、全ての項目で上がっている。 ・意識・行動の項目でも、上がっている。 ・探究活動で、国公立の推薦合格の実績がある。 ・国際研修・交流について ・ネパール・マレーシアの参加人数が増えた。 ・ロータリークラブとの連携で、生徒の意識が向上している。 <p>○中学の本年度総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学入試の倍率は、R6年度は盛り返し、R7年度は若干下がったが、2.5倍で落ち着いている。 ・人材育成に評価が高い。 ・海外大学への進学サポートをしていく。 ・授業改革に評価が高い。 ・教育センターとの連携による研修体制をとっている。 ・学習支援が充実していて、生徒の満足度が高い。 ・スマホ・タブレットを活用した補習体制をどうしていくか？ ・生徒指導体制の評価が高い。 ・30日以上欠席の不登校生徒の割合が増えている。 ・発達障害、生徒間でのトラブルなど、支援が必要な生徒が増えている。 ・別室登校生徒は、減っている。 ・コミュニケーション能力を、スキルアップする訓練を、来年度は教員、差来年度は生徒に実施する。 ・勤務満足度が100% ・働き改革に向けて、活動を促進させる。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究について生徒の満足度は上がっている一方、教員は下がっている <ul style="list-style-type: none"> →生徒の満足度が上がっていることはとても好ましい 教員が求める水準が上がっているのか？探究Ⅱが全員になったことが影響しているのか？ 地域フォーラムを見ていると全員にしたことは良かったと感じる。 全員になったことの影響が大きいのかは、来年度の数値に注目する。 探究Ⅱが全員になったことはSSH2期の関連。 ・生徒、保護者の満足度が高いことは素晴らしい。自分も子供も満足している。 <ul style="list-style-type: none"> →不登校生徒に関しては平均よりも低いとはいえ残念。 ・富田林中学校の「勤務満足度」100%は素晴らしい。 <ul style="list-style-type: none"> →忙しくても、教員が同じ方向を向けている。ベクトルが揃っている。 言い合いはあるが、あと腐れはない。 対話ができているから良い。 教員の質が上れば、生徒の質も上がる。 富田林中学に来てほしい先生を呼ぶことはできるのか。 「来てほしい」は言えない。「行きたい」先生が勤務する。 ・コロナの後遺症で気が上がらない生徒もいるかもしれない。 <ul style="list-style-type: none"> →社会問題になっている。 不登校はコロナ以前からの問題である。不登校の素地はそれまで様々な要素が影響する。 コロナが1要素としてどのような影響を及ぼすのか。 令和二年からコロナ渦になったので現在の高2にどのように影響しているか。 ・集団行動ができていない。 <ul style="list-style-type: none"> →インターネットによって誰でも発言できるようになっていることも要素の一つか。 コミュニケーション能力が重要。 寿命が延びたことで発達速度がゆっくりになっているのかもしれない。 情報過多になっている。取捨選択が必要。 ・協議会への出席率 <ul style="list-style-type: none"> →いつも委員5人だけになってしまっている。 他校の教員にももっと参加していただけるようにする。 生徒の参加も、TBSへの協議会委員の参加を検討。 生徒会選挙の映像等を見ることで、生徒の想い・ニーズを聞きたい。 コーディネーターの数を増やす。 ・来年度の学校運営協議会について <ul style="list-style-type: none"> →多くの人が参加できるように日程調整を行う。 委員は2年継続 ※PTA会長のみ交代。
-------------------	---

次回の会議日程	
日時	来年度の日時は未定
会場	